

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市高木瀬町長瀬 1582-5 106
団 体 名 特定非営利活動法人キャンバス
代表者職・氏名 代表理事 堀江雅章
電話番号 0952-65-4488

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人キャンバス

1 事業実施期間 令和3年1月7日から令和4年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

①さが骨の難病・障がい患者会(さがほね会)事業

事業計画のみで実施はしなかった。

②ヘルプマークを広める会事業

SNS 及び音楽イベント（三瀬どんぐり村）でヘルプマークの啓発活動を行った。認知度が低いヘルプマークの理解につながった。

③歌ってみた MIX 事業

通勤困難な障がい者を在宅勤務で雇用し、就職難の障がい者の自立につながった。えびす FM キャンバスラジオで MIX 作品を紹介し、若者中心の文化である「歌ってみた」活動を PR することにつながった。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCF を行った場合は GCF 名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①さが骨の難病・障がい患者会(さがほね会)事業	この会は、骨の難病・障がい患者の現状と、生活状況の報告会及び親睦を趣旨とした患者会である。参加資格は、骨の難病・障がい患者、家族、支援者とする。 今年度は企画のみで定例会は実施しなかった。	(A) (B) (C)	(D) (E)	0
②ヘルプマークを広める会事業	ヘルプマーク、逆ヘルプマークの推進・啓発活動。 SNS 及び音楽会での MC でヘルプマークの紹介を行った。	(A)3月20日 11時～11時20分 (B)三瀬どんぐり村光の広場 (C)2人	(D)音楽会鑑賞者 (E)10人	0
③歌ってみた MIX 事業	自身の歌唱を披露して活動する配信者向けに MIX(音声編集)事業を行った。	(A)令和3年度 (B)各従業員の自宅 (C)6人	(D)全国の歌ってみた活動者及び佐賀県民 (E)不特定多数	1,815

- (2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み
法人解散につき、次年度繰り越し見込みなし。

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考	
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	2,423,700	第1回交付：2,423,700円	
		収入計	2,423,700	
支 出	○歌ってみたMIX事業			
	人件費	1,814,808		
		返礼品等の調達に係る費用	288,000	
		返礼品等の送付に係る費用	11,352	
		ふるさと納税の広報に係る費用		
	ふるさと納税の事務に係る費用	309,540		
	支出計	2,423,700		

○GCFを行った場合は、GCFの事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。